

第3期「湯河原町まち・ひと・しごと創生総合戦略プラン」(案) 意見募集結果

1 意見募集期間

・令和7年12月12日(金)～令和8年1月13日(火)(33日間)

2 周知方法

- (1) 町ホームページ
- (2) 地方紙
- (3) メールマガジン
- (4) 町広報紙

3 募集資格

- (1) 本町に在住、在勤、在学の方
- (2) 本町に事務所または事業所をお持ちの方

4 公表場所

- ・湯河原町ホームページ
- ・湯河原町地域政策課、町立湯河原美術館、駅前観光案内所、町立図書館、湯河原町防災コミュニティセンター、子育て支援センター、ヘルシープラザに案及び意見記入用紙を配架

5 意見の提出方法

パブリックコメント記入用紙に、必要事項を記入の上、役場地域政策課へ持参、郵送、ファックス、電子メールのいずれかにより提出。

6 募集結果

4件(提出者2名)

項番	ご意見	町の考え方/反映状況
1	<p>湯河原町が大切にしてきた「温泉」「自然」「文化」「人のつながり」を次世代につないでいくという総合戦略の方向性に、強く賛同いたします。</p> <p>当法人では、高齢者の“手仕事”を活かした就労支援、ケアラー支援、メンタルヘルスに関する地域づくり、福祉と観光をつなぐ共創プロジェクトなどを進めております。</p> <p>湯河原町には、高齢者の豊かな経験、地域のつながり、手仕事文化、癒しの観光資源という強みがあり、これらは福祉と観光を橋渡しする取り組みと非常に相性が良いと感じております。特に、地域作業所の皆様の刺繍作品や手仕事を、地域の特産・観光と結びつけていく取り組みは、高齢者の生きがい支援と湯河原の魅力発信の双方に寄与する可能性が高いと考えています。</p>	<p>本総合戦略プランの将来像として掲げていますように、温泉、海、山、川に囲まれた豊かな自然、受け継がれてきた文化や歴史、そしてそこに暮らす人々の温かな心といった湯河原町が古くから大切にしてきた人のぬくもりと自然の恵みを守り、育てながら、次の世代へとつないでいき、誰もが自分らしく生き、働き、支え合えるまちの実現を目指</p>

	<p>また、ケアラー支援、高齢者の社会参加、メンタルヘルス支援も、これからの地域に不可欠な要素です。</p> <p>町が掲げる「誰もが自分らしく生き、働き、支え合えるまち」という理念の中に、これらの視点が盛り込まれていくことを期待しています。</p> <p>湯河原町が「癒し・文化・手仕事・つながり」の町として、次世代に愛され続ける未来を心より願っております。</p>	<p>していくため、本総合戦略プランを策定します。</p> <p>いただいたご意見を参考に、本町の総合戦略を推進してまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
2	<p>いつも生活を支えてくれてありがとうございます。湯河原に引っ越してきて15年、少しずつ町の良さが見えてきて、住みやすくなってきています。今回のパブリックコメントについて、コメントします。</p> <p>具体的戦略が書かれていないので、コメントをするのが難しいです。「目指します」「推進します」の言葉が多くありますが、それでは具体的に何をどう進めていくのかが見えません。具体的な方法を考えるための「目標」が今回の戦略プランであることは分かりますが、では、具体的戦略を考えた後に、住民にコメントを求める場面はあるのでしょうか？ 例えば、基本目標1に対して、ノウハウを持った人との交流を誰が誰とどう進めるのか、住民なのか公募するのか、どういった考えをもっているのかが分かりません。</p>	<p>本総合戦略プランは、人口減少社会の中でも、温泉や豊かな自然、文化や人のつながりといった町の財産を守り育てながら、次の世代へとつないでいき、誰もが自分らしく生き、働き、支え合えるまちの実現を目指していくため、4つの基本目標を定め、各基本的方向性のもと施策を展開していくものとしており、具体的な推進内容までは定めておりません。</p> <p>総合戦略上の各施策に基づく具体的事業の推進に当たっては、産官学金労言士等が参画する湯河原町総合戦略会議から提言等を求めるほか、町議会から意見をいただきながら検討を進めて参ります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>

<p>3</p>	<p>3-2 子育ての支援について</p> <p>出産については、救急車があり大変心強いと思います。産院を新たに作るのには難しいことは分かりますが、町が何かやってくれようとしているのは伝わります。また保育園、ファミサポと利用させていただいて、とてもありがたいと思っています。小学校でも先生たちに熱心に指導してもらっているようですし、中学校の給食が始まり、とてもありがたいです。ただ、小学校や公園の遊具がへっていること、子どもたちを取り巻く環境が、年々厳しくなっていることから、もう少し具体的に策を立てて活動していくべきだと思っています。それは、規則を作ったり、何か新たに作り出すのではなく、今あるものや頑張っている人にもう少しフォーカスして、何が足りていないのか、その人たちにもっと聞くべきだと思います。それは、アンケートに答えてもらう、とかではなく、町の方や議員の方が直接足を運んで、聞いたり見たりしてもらうことが大切だと思います。</p>	<p>【子ども支援課・学校教育課】</p> <p>本町の子育て支援行政にご理解いただきありがとうございます。本町では、「自然とやさしさの中ですべての子ども・若者が健やかに育つ町」を実現させるため2025年3月に策定しました「ゆがわら子どもまんなかプラン2025」に基づき、本町の子育て支援施策を推進しておりますが、子育て支援を含むまちづくりは、町民の皆さまと共に行っていくものであると考えておりますので、引き続き各関係機関や町民の皆さま参画のもと、本町の子育て支援に取り組んで参ります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>
<p>4</p>	<p>具体的に何か決める時や、今回のように意見を聞く際には、もう少し手軽な形で行わないと誰も答えないと思います。データも多いし、書いてあることが抽象すぎて、なににコメントしていいのかが分かりません。今はデジタルが発達しています。DX化を進めるなら、そこから始めてみてもいいかもしれません。</p>	<p>本総合戦略プランに係る町民意見募集を含め、町民の皆さまからご意見をいただくに当たり、近年ではその意見提出は全体として低調傾向にある実態を踏まえ、「湯河原町自治基本条例」に基づいた町民参加のまちづくりの観点や、広く町民の声を施策に反映させていくためにも、町民意見募集実施時における周知方法の工夫のほか、誰にもわかりやすい説明やデータの提示、DXを活用した意見収集の模索など、多様な手段で町民の声を拾えるよう努めてまいります。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p style="text-align: center;">【参考】</p>